

連携のための取り組み

○地域住民への普及啓発

- ・市民向け講座の開催、広報紙等への掲載
※9月に市民向け講座を開催予定。
- ・「在宅医療と介護マップ」を作成

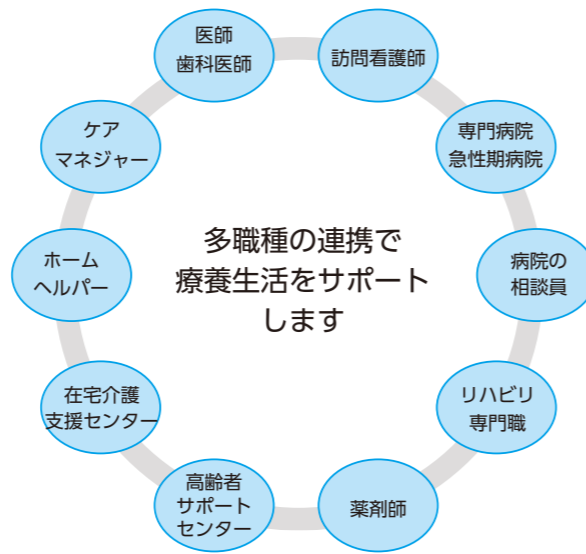
○在宅における医療・介護連携の課題と対応策の検討

- ・各種専門職の代表による協議会を開催し、地域課題等を検討
- ・地域の医療機関、介護事業所等に関する情報調査と把握

○多職種の連携推進

- ・研修会や交流会を開催し、顔の見える関係づくりを推進
- ・連携シート等を作成しスムーズな連携を推進

サポート体制



高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)

センター名	電話	担当地区
高齢者サポートセンター古河(地域包括支援センター古河)	Tel.23-6517	古河
高齢者サポートセンター総和(地域包括支援センター総和) ※専門機関・専門職からの相談窓口(H30.4開設)。	Tel.92-5920	総和
高齢者サポートセンター三和(地域包括支援センター三和)	Tel.77-1901	三和

全国大会出場

第17回全国小学生ソフトテニス大会

一ツ木彩衣さん、近藤知穂さん、中原一翔さん
(古河STCスポーツ少年団)

JFA第18回全国O-60サッカー大会

ラッツォス古河F.C.

県大会優勝

平成30年度

関東高校サッカー大会茨城県予選会

古河第一高等学校

高齢者叙勲

瑞宝双光章

丹下純さん
(88歳、鴻巣)
元三和町立
三和中学校長

瑞宝双光章

原田克一さん
(88歳、緑町)
元古河市立
古河第六小学校長

住み慣れた地域で暮らすために

～高齢化に向けた在宅医療と介護の推進～

急速な高齢化により、病院だけでなく自宅で長期療養する人や最期を迎える人が増加してきています。現在、市では在宅医療の充実のため、住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らせるような在宅医療・介護の連携を進めています。

【問】 高齢者サポートセンター総和(健康の駅) Tel.92-5920

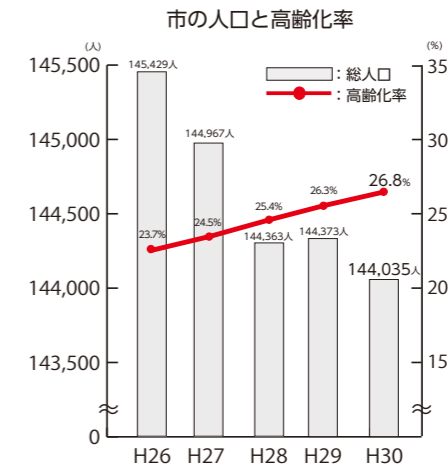
【古河市の人口】

※住民基本台帳：平成30年4月現在。

- 総人口 144,035人
 - 高齢者人口(65歳以上) 38,576人
- 高齢化率 26.8%

2025年には約 **30%** へ

出典：古河市高齢者いきいきプラン



在宅医療とは、通院による療養が困難な人に対して、住み慣れた生活の場で行う医療を在宅医療と言います。かかりつけ医を中心に医療や介護などの専門職が一体となり、在宅での生活を支援します。

在宅医療とは

1 自分でできること

かかりつけ医・薬局を持つ

かかりつけ医は、日頃の健康状態をもとに、訪問看護師などと連携を図り生活に根ざした治療を行います。また、入院・検査ができる病院や専門医を紹介するなど、医療・介護の連携役となり、在宅医療を支える大切な存在です。さらに、かかりつけ薬局を持つことで医師との連携がスムーズになり、適切な薬の使用法や飲み合わせなどについて相談ができます。

2 自分でできること

人生の最期の迎え方
自分らしい生き方を考える

自分や大切な人の死を想像することは、とても辛いことかもしれませんが、しかし、家族や大切な人たちと「人生の最期のあり方」どのよう「みとってあげたいか」「自分らしい(その人らしい)生き方とは何か」などよく話し合い、みんなの気持ちをひとつにしておくことが大切です。

3 自分でできること

医療・介護情報や
相談窓口を把握する

在宅医療については、かかりつけ医や病院の相談員、担当のケアマネジャーへご相談ください。また、地域の高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)は、高齢者の総合相談窓口となっており、在宅医療や介護に関する情報提供、各種相談を受け付けています。事前に相談窓口を把握しておくことで、必要な時の速やかな利用につながります。



▲訪問診療を行う赤荻医師